

2022年度 一般社団法人 大曲青年会議所

基本方針

総務広報委員会 担当

副理事長 鈴木 輝斗

新型コロナウイルスに屈することなく、自治体の判断に従いながらも、大曲J Cも状況に応じたICT技術を活用して様々な活動や運動を展開しており、ウィズコロナの活動様式を定着させつつあります。この現状を維持して活動をするのではなく、どのような逆境も乗り越え歩んできた大曲J Cの49年間を誇り、我々の住まうこの大仙郷を先導していくという使命をもち、時代の変化に対応し続ける率先垂範な組織である必要があります。

まずは、組織の基盤を強靱なものとするために、総会や例会の設営と運営を行い、会員の意志の統一を図ります。そして、効率的な連携を取るために、会員の名簿や台帳を作成し、適宜に管理、更新をすることにより、正確な情報を組織で共有します。さらに、活発な組織であり続けるために、各種大会や事業への参加促進を行い、会員に有意義な経験をしていただきます。また、今後も魅力のある事業を展開するために、褒賞事業を活用して事業の良点や改良点を再認識し、今後の事業の成長と発展へとつなげていきます。そして、地域の方々に我々の活動へのさらなる理解と興味を抱いていただくために、工夫を凝らした広報を地域に求められる手段にて伝達し、我々の想いを効果的に広げます。さらに、中和国際青年商會とこれからも友好的な関係であるために、状況に応じた方法での交流を図り、次代へと紡いでいきます。また、時代を先駆ける組織であるために、ICT技術を積極的に活用し、コロナ禍の苦境を乗り越えます。そして、永続的な組織であるために、若い人財の情報を共有して継続的な会員拡大活動を行い、多くの新入会員を迎え入れます。

時代に即した知識と技術を身に付け、幾多の困難をはね返した大曲J Cは創立50周年を盛大に迎え、これからも地域を先導していく組織として、コロナ禍の苦境を仲間とともに切り開き、豊かさ溢れるこの地域にまた50年、100年と大輪の花を咲かせ続けます。